

令和2年の救急概要

令和2年中における救急概要を見ると、出場件数8,383件(対前年比944件減,約10.1%減)、搬送人員8,048人(対前年比969人減、10.7%減)である。

これは管内で、1日平均約22.9回(前年約25.6回)救急車が出場し、住民の約22.9人(前年約21人)に1人が救急隊によって搬送されたことになる。

市町別出場状況

塩竈市	3,004件(前年3,306件)
多賀城市	2,410件(前年2,673件)
松島町	848件(前年1,017件)
七ヶ浜町	755件(前年758件)
利府町	1,357件(前年1,557件)
他市町	9件(前年16件)

事故別出場状況

	令和2年	平成31年(令和元年)
第1位	急病	(同左)
第2位	一般負傷	(同左)
第3位	転院搬送	(同左)
第4位	交通事故	(同左)
第5位	自損行為	(運動競技)

月別出場状況

第1位	12月	840件
第2位	1月	786件
第3位	8月	780件
第4位	11月	742件

傷病程度別搬送状況

第1位	中等症	4,834人(60.0%)
第2位	軽症	2,083人(25.9%)
第3位	重症	1,027人(12.8%)
第4位	死亡	104人(1.3%)

年齢区分別搬送状況

高齢者(65歳以上)が最も多く5,201人、次いで成人2,177人、乳幼児、少年、新生児の順

平均現場到着所要時間
7分40秒
(覚知から現場に到着するまでの時間)

平均病院等収容所要時間
41分15秒
(覚知から医療機関に収容するまでの時間)

医療機関別搬送状況

- 救急告示病院は、
7,895人(98.1%)
- その他の医療機関は、
153人(1.9%)
- 管内搬送は4,920人
(全体の61.1%)